

【1】 2010 学習院大学 2/7 文

問 1 下図の空欄①～③に適する国際経済組織名をアルファベットを用いた略称で答えなさい。また、空欄④～⑧に適する加盟国名を答えなさい。〔解答用紙記述〕

問 2 EEC に対抗して発足した EFTA の現在の加盟国は、設立当時と大きく異なっている。下の地図中の国ア～コから、EFTA 発足時の加盟国 5 か国を選び、記号をマークしなさい。

〔解答用紙マーク〕

【 ① 】			E F T A	
日本	【 ② 】		リヒテンシュタイン	
トルコ	アメリカ	ノルウェー	E U	
[④]	カナダ	スイス		
ニュージーランド	[⑤]	アイスランド		
韓国				
フランス	アイルランド	スウェーデン	スロベニア	
ドイツ	デンマーク	ポーランド	マルタ	
イタリア	ギリシャ	ハンガリー	キプロス	
ベルギー	スペイン	チェコ	エストニア	
オランダ	ポルトガル	スロバキア	ラトビア	
ルクセンブルク	オーストリア		[⑥]	
イギリス	フィンランド		ブルガリア	
			ルーマニア	
MERCOSUR			【 ③ 】	
アルゼンチン	インドネシア	ミャンマー	[⑧]	
パラグアイ	シンガポール			
[⑦]	ベトナム	フィリピン		
ベネズエラ	マレーシア	ブルネイ		
ウルグアイ	タイ	カンボジア		



【1】 2010 学習院大学 2/7 文

問 1 ① OECD ② NAFTA ③ ASEAN ④ オーストラリア ⑤ メキシコ ⑥ リトアニア
⑦ ブラジル ⑧ ラオス 問 2 イ, ウ, エ, カ, ケ

【2】 2010 明治大学 2/5, 全学部統一 経営 国際日本 商 情報コミュニケーション 政治経済 農

(1) 第二次世界大戦の戦場となったヨーロッパの戦後復興は、新たな国家間の枠組みの形成と並行して進められた。1952年に発足した域内鉱産資源の共同開発を目的にした①は、ヨーロッパにおける協力関係を強力に推進する組織であった。1958年には自由貿易を円滑に拡大するために②が組織され、また、新たなエネルギー源となりつつあった③の共同開発・管理を目的にした EURATOM が組織された。1967年にはこれらの3組織を合体した④が発足し、当初から加わっていた6カ国は現在の EU 成立の原加盟国と総称されている。

関税同盟が完成した1968年に共通⑤政策が策定された。これは加盟国におけるある商品の安定的な生産と流通をめざし、輸出入の域内優先の推進、統一的な価格実現にむけた補助金交付などを内容としていた。この政策はヨーロッパにおけるその商品の生産を増大させたが、数年後には「⑥」と形容された余剰問題も生じた。また、補助金は重い財政負担となり、域外からの輸入に対する課徴金制度は⑦の一因となった。

(2) こうした新たな問題も生じたが、ヨーロッパの連合体には加盟申請が相次ぎ、2007年には27カ国からなる総人口5億人に近い巨大な連合体となった。その拡大過程は次のようであった。

1973年には他の自由貿易連合の主要メンバーであった3カ国が加わった。その後、1981年のギリシャ加盟に続き、さらに、1970年代中期まで独裁政治や軍政が続いていた①の2カ国に議会制民主主義が確立されると、1986年に加盟が認められた。こうして、1980年代後半には、創設当初の2倍の12カ国が加盟する連合体となった。

1992年のマーストリヒト条約調印によって市場統合、共通通貨の導入などによる統合が加速され、1993年には EU へと発展していった。1995年にオーストリアとともに②の2国が加盟した。さらに、EUの拡大は国土面積や人口規模が小さい国にも波及し、2004年には③や2つの島嶼国④など10カ国が新たな加盟国となった。さらに、2007年には⑤も加わり、加盟国は27カ国に達した。

このような EU 加盟国の拡大を地域的にみるなら、次のようにまとめることができる。⑥

(3) EU は加盟国数の増加にとどまらず、質的にも変化していった。1995年にはルクセンブルク、ドイツ、フランスとの国境が交わる地方都市において、その都市名を冠したシェンゲン協定が結ばれた。この協定には2カ国を除く全ての EU 加盟国と EU に加盟していないアイスランド、ノルウェーなど4カ国を含め29カ国が調印している。

自由な物資の流通や人々の往来に続いて、共通通貨の導入も図られていった。1999年には11カ国において EURO が共通通貨として導入され、2002年から紙幣・硬貨の流通が開始された。さらに、2003年には EU 憲法草案が策定され、各国における検討が続けられている。

これらの新たなつながりに参加する国々が増加しているが、EU 加盟国には①のようにシェンゲン協定に参加せず、EURO も導入していない国もある。

問 1 (1)の文章の空欄①～④に該当する語句を選択し、その記号を解答欄にマークせよ。

A : EC B : GATT C : EEC D : WTO E : ECSC F : EFTA G : 原子力 H : 地熱 I : 風力 J : 火力

問 2 (1)の文章の空欄⑤に該当する語句を選択し、その記号を解答欄にマークせよ。

A : 産業 B : 農業 C : 漁業 D : 工業 E : 商業

問 3 (1)の文章の空欄⑥に該当する短文を選択し、その記号を解答欄にマークせよ。

A : 山となった石炭、積まれる鉄鋼 B : バターの山、ミルクの湖
C : あふれる原油、網状のパイプ D : 天に届く魚網、肥料と化す魚貝
E : 山と積まれた小麦とジャガイモ

問 4 (1)の文章の空欄⑦に該当する語句を選択し、その記号を解答欄にマークせよ。

A : 貿易赤字 B : 貿易黒字 C : 貿易摩擦 D : 貿易不均衡 E : EU 債の乱発

問 5 (2)の文章の空欄①～⑤に該当する国名の組み合わせを選択し、その記号を解答欄にマークせよ。

A : イギリス, デンマーク B : ベルギー, オランダ C : スペイン, ポルトガル

D : アイルランド, ノルウェー E : イタリア, ギリシャ F : マルタ, キプロス

G : マリョルカ, コルシカ H : トルコ, シリア I : ルーマニア, ブルガリア

J : ポーランド, チェコ K : スウェーデン, フィンランド

問 6 (2)の文章の空欄⑥に最も適切な短文を選び、その記号を解答欄にマークせよ。

A : 連合体の加盟国は、北ヨーロッパ、東ヨーロッパ、南ヨーロッパと時計回りで拡大していった。

B : 連合体の加盟国は、原加盟国の周辺部から南ヨーロッパへ、さらに北ヨーロッパ、東ヨーロッパ諸国へと拡大していった。

C : 連合体の加盟国は、所得水準の高い北ヨーロッパへ拡大し、東ヨーロッパへ、さらにヨーロッパで所得水準の低い南ヨーロッパへ拡大していった。

D : 連合体の加盟国は、アウター・セブンと呼ばれたヨーロッパの外周・周辺部に位置する地域から拡大していった。

E : 連合体は「ヨーロッパ全体の発展」を目指したことから、地中海の小国やアフリカや大西洋に旧植民地や島嶼部をかかえる諸国を優先的に加盟国にした。

問 7 (3)の文章の下線を付したシェンゲン協定の説明に関して、最も適切な短文を選び、その記号を解答欄にマークせよ。

A : 協定国間ではパスポートの点検を廃止し、自由な往来を可能にした取り決めである。

B : 関税を廃止し、協定国間において商品の移動が自由に行われることを可能にした取り決めである。

C : テレビの周波数の調整や共通の救急電話番号の設置等を協定国間で取り決めたものである。

D : 各種の犯罪捜査や裁判に関して、協定国間の相互協力を確認した取り決めである。

E : 国境を超えた企業活動が増加したため、統一した労働条件を策定することを取り決めたものである。

問 8 (3)の空欄①に該当する国名を選択し、その記号をマークせよ。

A : デンマーク B : スイス C : イギリス D : ハンガリー E : ポーランド F : アイスランド

【2】2010 明治大学 2/5, 全学部統一 経営 国際日本 商 情報コミュニケーション 政治経済 農

問 1 ① E ② C ③ G ④ A 問 2 B 問 3 B 問 4 C 問 5 ① C ② K ③ J ④ F ⑤ I

問 6 B 問 7 A 問 8 C

【3】2009 明治大学 2/10, 一般 経営

第二次世界大戦後、再び戦うことがないように戦争に必要な石炭と鉄鋼の共同管理を目的として、あ年にヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が発足した。これに参加したのは、い、西ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの6カ国であった。その後1958年には、いっそう広範な経済統合を目指してうが設立された。1967年にECSCとうと他の一つの機関とが統合され、ヨーロッパ共同体(EC)が結成された。ECは域内関税の撤廃、域外関税の共通化、共通農業政策などの政策をとった。さらに1993年にはヨーロッパ連合(EU)が発足し、1999年には国家主権の一部を統合するえを導入したり、共通の安全保障政策を目指したりしている。2004年には旧東ヨーロッパ諸国など10カ国、2007年には旧東ヨーロッパのルーマニアとブルガリアが加盟し、同年の加盟国はおカ国となっている。EU域内では貿易が非常に活発になったが、域内の占める割合が高く保護主義的であり、共通農業政策についても貿易摩擦が生じている。

問1 文中の空欄 あ ～ お に関して，最も適切なものを次の①～⑤から一つ選び，解答欄にマークせよ。

あ：

- ① 1945 ② 1948 ③ 1950 ④ 1952 ⑤ 1955

い：

- ① スペイン ② フランス ③ デンマーク ④ イギリス ⑤ ノルウェー

う：

- ① ヨーロッパ地域開発基金(ERDF) ② ヨーロッパ自由貿易連合(EFTA)

- ③ 北大西洋条約機構(NATO) ④ ヨーロッパ経済共同体(EEC)

え：

- ① 共通通貨制度 ② 輸出補助金

- ③ 経済のブロック化 ④ 農産物の統一価格制度 ⑤ 輸入課徴金

お：

- ① 21 ② 23 ③ 25 ④ 27 ⑤ 29

問2 次の表は，EU に加盟している 5 カ国(イギリス，イタリア，スペイン，フランス，ポルトガル)の主要輸出品目と輸出総額を示したものである。

表 EU 5 カ国の主要輸出品目と輸出合計額(単位：百万ドル)

A(2004 年)		B(2004 年)		C(2004 年)	
機 械 類	6,609	機 械 類	90,592	機 械 類	98,590
自 動 車	4,959	自 動 車	60,290	自 動 車	27,874
衣 類	3,456	航 空 機	21,946	衣 類	18,670
繊 維 品	1,905	医 薬 品	20,703	繊 維 品	15,526
は き も の	1,652	鉄 鋼	14,058	金 属 製 品	14,902
輸 出 総 額	35,712	輸 出 総 額	410,700	輸 出 総 額	353,492

D(2003 年)		E(2004 年)	
機 械 類	90,545	き	42,609
自 動 車	28,830	機 械 類	27,054
医 薬 品	19,348	野菜・果実	11,509
か	15,125	鉄 鋼	6,335
精 密 機 械	10,425	石 油 製 品	5,618
輸 出 総 額	320,057	輸 出 総 額	182,727

出所：『世界国勢図会 2007/08 年版』

(1) 表中の A～C 国に該当する国名を①～⑤からそれぞれ一つ選び，解答欄にマークせよ。

A：① イギリス ② イタリア ③ スペイン ④ フランス ⑤ ポルトガル

B：① イギリス ② イタリア ③ スペイン ④ フランス ⑤ ポルトガル

C：① イギリス ② イタリア ③ スペイン ④ フランス ⑤ ポルトガル

(2) 表中の D, E 国の空欄 か , き の輸出品目を①～⑤からそれぞれ一つ選び，解答欄にマークせよ。

か：① 航空機 ② 金属製品 ③ 原 油 ④ 天然ガス ⑤ 鉄 鋼

き：① 家 具 ② 衣 類 ③ 繊維品 ④ 精密機械 ⑤ 自動車

問3 次の表は、EU に加盟している 5 カ国(イギリス、イタリア、オランダ、ドイツ、フランス)の主要輸出相手国と輸出額などを示したものである。表中の F～I 国に該当する国名を①～④からそれぞれ一つ選び、解答欄にマークせよ。

表 EU 5 カ国の主要輸出相手国と輸出額など

ドイツ(2005 年)			F(2005 年)		
輸 出 相 手 国	輸 出 額 百万米ドル	輸出総 額比%	輸 出 相 手 国	輸 出 額 百万米ドル	輸出総 額比%
H	99,425	10.2	ド イ ツ	101,078	24.9
アメリカ合衆国	86,071	8.8	ベ ル ギ ー	52,804	13.0
G	76,769	7.9	H	38,118	9.4
I	67,657	6.9	G	37,148	9.1
(E U 諸 国 計)	619,986	63.5)	(E U 諸 国 計)	322,212	79.4)

G(2005 年)			H(2005 年)		
輸 出 相 手 国	輸 出 額 百万米ドル	輸出総 額比%	輸 出 相 手 国	輸 出 額 百万米ドル	輸出総 額比%
アメリカ合衆国	55,852	15.1	ド イ ツ	67,456	14.7
ド イ ツ	39,028	10.5	ス ペ イ ン	44,290	9.6
H	32,799	8.9	I	39,866	8.7
アイルランド	27,104	7.3	G	38,159	8.3
(E U 諸 国 計)	198,379	53.6)	(E U 諸 国 計)	286,584	62.4)

I(2005 年)		
輸 出 相 手 国	輸 出 額 百万米ドル	輸出総 額比%
ド イ ツ	48,209	13.1
H	45,036	12.3
アメリカ合衆国	29,715	8.1
ス ペ イ ン	27,293	7.4
(E U 諸 国 計)	215,417	58.7)

出所：『世界国勢図会 2007/08 年版』

F：① イギリス ② イタリア ③ オランダ ④ フランス

G：① イギリス ② イタリア ③ オランダ ④ フランス

H：① イギリス ② イタリア ③ オランダ ④ フランス

I：① イギリス ② イタリア ③ オランダ ④ フランス

【3】2009 明治大学 2/10, 一般 経営

問1 あ ④ い ② う ④ え ① お ④ 問2 (1) A ⑤ B ④ C ② (2) か ③
き ⑤ 問3 F ③ G ① H ④ I ②

【4】 2010 立命館大学 2/1, 文系A方式

ヨーロッパ大陸の周辺には、多くの島々が位置している。たとえば、**A** 領のスヴァールバル諸島には石炭の産出で知られた **B** 島が含まれる。およそ北緯 66 度 34 分より北は **C** と呼ばれ、その緯線近くには氷河と火山で有名な **D** 島が位置している。また、ヨーロッパには含まれないが、世界最大の島であるグリーンランドは **E** の自治領である。

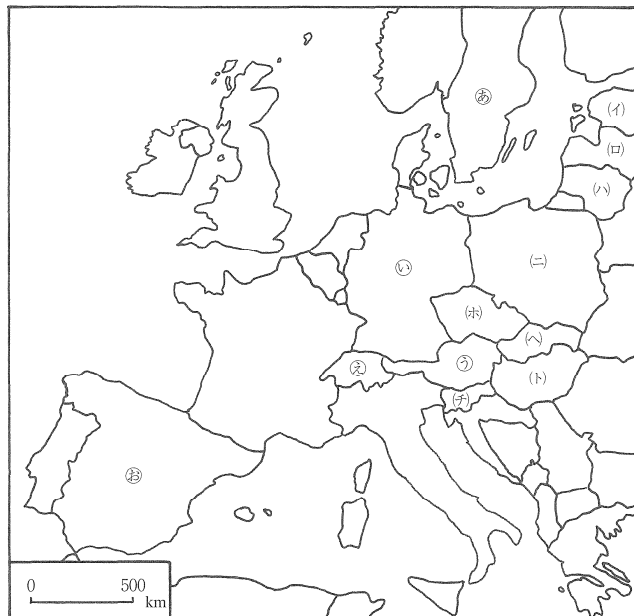
イギリス海峡ならびに **F** 海峡で **G** と隔てられる **H** 島は、スコットランド・イングランド・**I** からなる。その西の **J** 島には、イギリスの一部である **K** とイギリスから独立を果たした **J** 共和国とがある。

一方、地中海に位置する島国には、2004 年に EU に加盟したマルタと **L** とがある。**L** 島では、ギリシャ系と **M** 系との住民間の対立関係が問題になっている。

[1] 本文中の **A** ～ **M** に当てはまる最も適切な語句または地名を答えよ。

[2] 2004 年にはマルタと **L** のほかに、以下の地図中にある(イ)～(チ)の 8 カ国が EU に加盟した。それらのうちで、カトリック教徒の割合が最も高い国はどこか、最も適切な国名を答えよ。また、その国はどこに位置しているか、地図中の符号で答えよ。

[3] 次の表は、地図中の㉑～㉓の国々のうちの 4 カ国に関するものである。表中の「国際機構」の○印は加盟、×印は非加盟を、同じく「通貨」の○印は導入、×印は非導入を示している(2009 年 4 月現在)。表中の(甲)～(丁)に当てはまる国はそれぞれどこに位置しているか、最も適切なものを地図中の㉑～㉓から 1 つずつ選び、符号で答えよ。



国	国際機構		通貨	カトリック教徒の割合 (%)	土地利用の割合 (2005年：%)		
	NATO	EU			耕地率	牧場・牧草地率	森林率
(甲)	×	○	○	73.7	17.3	21.6	46.0
(乙)	×	○	×	1.8	6.0	1.1	61.1
(丙)	×	×	×	41.8	10.5	26.4	29.6
(丁)	○	○	○	92.0	36.9	20.6	35.4

出典：カトリック教徒の割合は『データブック オブ・ザ・ワールド 2009年版』

(二宮書店)、土地利用の割合は『地理統計 2009年版』(帝国書院)

【4】 2010 立命館大学 2/1, 文系A方式

[1] A ノルウェー B スピッツベルゲン C 北極圏 D アイスランド E デンマーク
F ドーヴァー G フランス H グレートブリテン I ウェールズ J アイルランド
K 北アイルランド L キプロス M トルコ [2] ポーランド, ニ

[3] (甲) ㉑ (乙) ㉑ (丙) ㉑ (丁) ㉑